

羽ばたく 若者たち

18歳、新生活スタート！

3月に富山県立桜井高等学校を卒業した清水映見さん、米田華希さん、石谷奎宗さんは4月から県外の大学へ進学します。

今回は、親元を離れ、生まれ育った黒部からそれぞれの道へ歩み出す若者たちを紹介します。



保育士を目指したい！



生活環境科を卒業した清水さんは、保育士を目指して東京の大学へ進学します。「中学生の時に14歳の挑戦で保育所の子どもたちと触れ合い、子どもたちの成長を見守って一人ひとりに寄り添う保育士に魅力を感じました。生活環境科も子どもに関わる勉強ができるので、夢を持って入りました」と話します。高校生活では、障害児施設や子育て支援センターでの実習やボランティア活動に積極的に参加し、障がいや子育てに関する視野が広がったことが強く印象に残っているそうです。

県外への進学について、最初は2人の姉も県外の大学に入学し、一人暮らしをしている様子を見て純粋に楽しそうと感じ、自分自身も県外に行きたいと思いました。そして、2年生の時に研修旅行で実際に大学を見たことで、「進学するならこういう学校がいいな」と具体的なイメージが湧いてきました。「保育に関する勉強ができる大学を3、4校比較し、夏休みに

一度黒部を離れ 成長したい！



オープンキャンパスへも行ってきました。大学生や先生方にたくさん質問して自分が理想とする保育士像に近づける大学を選びました。卒業後は黒部に帰ってきて保育士として働きたいですね」と話します。

自力で一人暮らしをしていけるのか、生活に慣れるまでホームシックにならないか、心配なこともあるのですが、新生活に向けて家具家電を揃えたり、県外出身の友達をつくることを楽しみにしています。



普通科を卒業した米田さんは、大学に入学してから具体的な夢を見つけようと考えています。「社会や数学が好きで、意欲をもって楽しく学んでいけると思い、経済学部を目指

しました。好きなことをさらに深められたら仕事にもつなげやすいかなと思っていて、今はまだ具体的なになりたい職業は決めていませんが、4年間でいろいろな経験をして考えていこうと思っています」と話します。

米田さんは、家族や友達がいて、安心感をもてる地元に残る選択肢もありましたが、周りが頑張っている姿を見て、「自分もみんなに追いつかないと！」と、刺激を受けながら自分自身を高めていきたいと感じ、勉強も部活動も力を入れていく県外の大学を探しました。「私は誰にでも話しかけるといいうより、仲の良い友達と一緒に過ごすタイプで、その中で『これが正しい』という固定観念を持っていました。でも、高校生になって市外から通う同級生たちと過ごしていくうちに『そういう考え方があるんだ』と、新たな気付きもあって、もっと自分の視野を広げたいなと思うようになりました。大学生になれば、全国から集まってくる同級生や先輩方と関わることができるので、また違った心境の変化を感じるかもしれません。お互いに良い刺激を受けながら過ごしていきたいです」と話し、富山とは違う環境での生活を将来に役立てたいと考えています。





一人暮らしのドキドキ

石川県の大学で土木について学ぶ石谷さんは、研修旅行で大学訪問をした時に、工業や土木、情報技術などの学部でも力を入れている印象を受け、進学を決めました。「僕は富山が大好きで、できれば離れたくないです(笑)。でも、土木科で学んだ知識をもっと深めることができる大学だと思いますし、4年後に技術を身につけて黒部に帰ってきたいと今は考えています」と話します。

中心となってメニューを組み立て、部員を引っ張ってました。「部活動では大変なことや悔しい思いをしたこともあったけど、みんなと3年間バレーボールができて楽しかったですね」と話し、これから多くの人と交流し、仕事面でも人間性の部分でも慕われる大人になりたいそうです。



視野を広げ、日本を支える大人へ

数多くの学校からそれぞれの思いで進路を決めた3人ですが、将来どんな大人になりたいか聞いてみると、「自分の考えにとらわれずに、広い視野でいろいろな方面から物事を見る大人になりたい」と共通する考えも見え、3人とも新しい環境で、全国から集まった人たちと出会い、様々な経験を通して今まで気づかなかった価値観や物の見方を受け入れることを楽しみにしていました。



しをしたり、感謝の気持ちを伝えて旅立ちたいと話していました。また、仲の良い友達とも離れてしまうため、1日でも多く一緒に過ごし、思い出をつくりたいと話しており、地元で築いた人間関係や家族への思いも忘れずに次の一歩を踏み出します。



スマイル Vol.50

ふくしスマイルワーカー

福祉に携わる人のお仕事拝見!

介護タクシーの「らく・楽・くろべ」ケアドライバー/ホームヘルパー
なかにし ゆきひろ
中西 幸広さん(60歳)
今後、取り組んでみたいこと
木工づくり

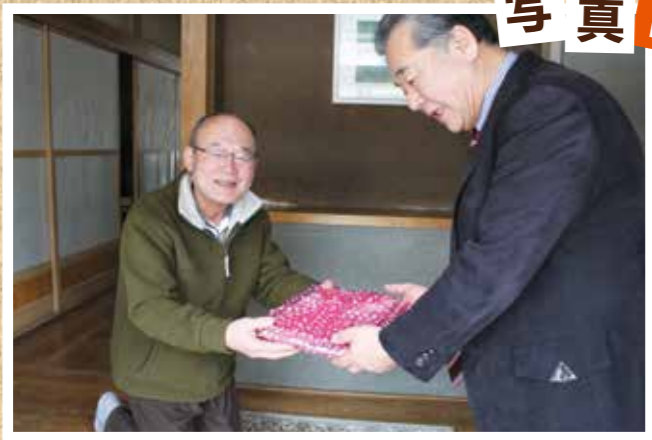


利用者さんの負担にならないよう気をつけています

介護タクシーを始めたきっかけは?
もともとは長距離トラックの運転手でしたが、父が亡くなり、母が一人暮らしになったことや、おじが病気になることがきっかけで、介護タクシーの仕事を知りました。退職後に介護技術や知識を学び、平成26年5月に起業しました。

仕事内容は?
介護認定を受けている方、障がいのある方、人工透析が必要な方が利用しており、ご予約いただいた方の自宅や施設から病院までの送迎、転院時の送迎をしています。予約してから利用される方が多いのですが、急な依頼や時間外の依頼も時間調整ができれば対応しています。

写真レポート



2月16日(金) 若栗地区

若栗地区配食弁当
75歳以上の一人暮らし高齢者に「いつまでも笑顔で元気にお過ごしください」と声をかけながらお弁当を届け、受け取った皆さんも喜んでいました。



1月23日(火) 愛本交流館

頑張らなくても気持ちいいゆる体操
全身の力を抜き、体に優しく語り掛けて簡単にできる体操です。皆さん血行が良くなり、凝りもほぐれて体が軽くなりました。

民生委員児童委員と心配ごと相談

行政相談員と行政相談 予約不要

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月10日(火) 13:30~15:30
黒部市立中央公民館(宇奈月町浦山2100-2)
4月12日(木) 13:30~15:30

弁護士と法律相談 予約受付/4月2日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月17日(火) 13:30~15:30
同じ相談内容の場合は、
お一人様につき3回までとさせていただきます。

富山県東部生活自立支援センター

生活自立支援相談 予約受付/4月2日より

黒部市福祉センター(金屋464-1)
4月16日(月) 10:00~11:30

今月の相談日

4月

- 1日(日) さくらカラオケ愛好会 10:30~
- 7日(土) 華の会歌謡ショー 10:30~
- 14日(土) 日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典 10:30~
- 22日(日) 入善町野菊の会 歌と踊りの発表会 10:30~
- 24日(火) 松乃会くろべ 民舞サークル発表会 10:30~
- 28日(土) カラオケ歌仲間 10:30~

休館日 毎週月曜日(2日・9日・16日・23日・30日)

5月

- 12日(土) 北川歌謡ショー 10:30~
- 18日(金) 藤間流華松会 日本舞踊 10:30~
- 19日(土) 歌謡パラダイスふれあいショウ 10:30~
- 26日(土) 日本海歌謡研究会 歌と踊りの祭典 10:30~
- 27日(日) YKK社友会歌謡同好会サークル発表会 10:30~

休館日 毎週月曜日(7日・14日・21日・28日)
5月4日~6日は、
ゴールデンウィークのためお休み

黒部市福祉センター [利用時間] 8:30~16:30
[入浴時間] 10:00~16:00

催し物と休館日のご案内

地域福祉のために

黒部市社会福祉協議会に
寄付をいただきました
ありがとうございました

●黒部市立桜井中学校 様

●JAくろべ女性部 様

JAくろべ女性部が「愛の米一握り運動」として、「市内で生活に困っている人がいたら役立ててほしい」と、黒部市社会福祉協議会へ玄米60kgとタオル200枚を寄付されました。



今月のクラブ

- 囲碁・将棋クラブ
金曜日(6日・13日・20日・27日)
- 元気カラオケクラブ
木曜日(12日・26日)
- 手芸部
木曜日(19日)
- ポールウォーキング
金曜日(20日・27日)

誕生日のお祝いに
福祉センターの入浴券はいかがですか? 11枚綴り 3,000円

活動レポート1

くるベネット(企業版)研修会
住民・企業・社協で協力しながら
地域の課題解決を目指す

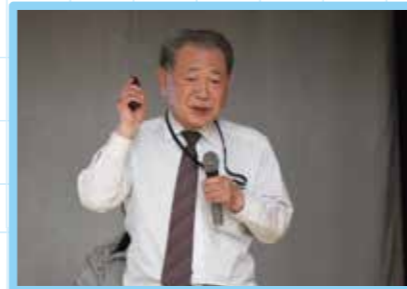
1月29日(月)、くるベネット(企業版)研修会に市内の企業や事業所、民生委員児童委員など55名が参加しました。
これまでの見守りネットワーク、みまもり員制度、ケアネット活動が二元化され、「くるベネット」の名称で、地域の気になる世帯の見守りや支援活動を行います。
研修会では、富山県社会福祉協議会古野智也部長を講師に招き、北日本新聞古川販売店の古川和幸氏、うなづき薬局薬剤師の沓掛隆義氏が、日常業務の中で住民の変化を発見した時に社協と連携して安否を確認する事例を発表しました。企業ができる地域の見守り活動を再確認する時間となりました。



古野智也氏



古川和幸氏



沓掛隆義氏

活動レポート2

「災害時」に備え、支え合う地域づくり
内山地区一斉雪かきDAYを開催

2月17日(土)に内山地区一斉雪かきDAYを開催しました。近年にく今年は大雪になりましたが、当日は市内外から65名が参加し、高齢者などの屋根から落ちた雪や玄関周りの除雪を行い、「とても助かりました。ありがとうございます」と感謝されました。
雪かきボランティアは災害時のボランティア訓練も兼ねており、活動後には内山地区「ごみみの会」の皆さんがつくられた猪鍋がふるまわれました。

65名で雪かきボランティアを行いました



18歳、新生活スタート！
羽ばたく若者たち



清水映見さん・米田華希さん
石谷奎宗さん (左から)



2018
4月 Vol.145

【編集・発行】 社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会 平成30年4月1日発行

うなづき [参加費] 150円(入館料のみ)



介護予防通所事業
生き生き倶楽部
黒部市宇奈月老人福祉センターにて

[時間] 9:30~15:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
1	2 自力整体	3 レクリエーション	4	5 レクリエーション	6 自力整体	7
8	9 スポーツレク	10 健康体操B	11	12 健康体操A	13 レクリエーション	14
15	16 バスハイク	17 バスハイク	18	19 バスハイク	20 バスハイク	21
22	23 レクリエーション	24 健康体操C	25	26 レクリエーション	27 レクリエーション	28
29 昭和の日	30 振替休日	5/1 自力整体	2 スポーツレク	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子供の日

時間/10:00~11:00 ※ は休館日

健康体操A 石田みどり 先生 健康体操B 村田あゆみ 先生
健康体操C 岡崎 明子 先生 スポーツレク 健康増進課職員
自力整体 稲田 清美 先生

くろべ [参加費] 300円(入館料のみ)



介護予防のための
元気はつらつ体操教室
黒部市福祉センターにて

[時間] 10:00~11:00 [対象] 65歳以上の方

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 健康体操	5 健康体操	6 健康体操	7
8	9	10 健康体操	11	12 体操	13 体操	14
15	16	17 体操	18 体操	19	20 自力整体	21
22	23	24 音楽療法	25 音楽療法	26 音楽療法	27 音楽療法	28
29 昭和の日	30 振替休日	5/1	2	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 子供の日

時間/10:00~11:00 ※ は休館日

健康体操 樋口 瞬 先生 自力整体 稲田 清美 先生
音楽療法 畠山 悦子 先生 体操 小森亜希子 先生

脳活 くらぶ

脳活くらぶ
学習サポーター募集中

認知症予防に役立つ簡単な学習の支援をしてみませんか？

対象 65歳以上のおみなさんと 5月16日(水)
会話を楽める方 13:00~16:00

締切 5月11日(金)まで

お申し込みは 黒部市宇奈月老人福祉センター
TEL.(0765)65-1820 担当:山内まで



今月の表紙

つくしの横で太陽の光を浴びながら芝生に広がる小さな青い花。オオイヌノフグリを目にすると春の訪れを感じます。晴れた日は、足元でも華やかに咲き誇る草花をじっくりと眺めてみてはいかがでしょうか。

編集 高村

福祉・ボランティアに関することは

本所 黒部市福祉センター内

〒938-0022 黒部市金屋464-1 TEL.(0765)54-1082(代表) FAX.(0765)52-2797
TEL.(0765)57-1089(ケアセンター・ホームヘルプセンター) Eメール kurobesw@ma.mrr.jp

社会福祉法人 黒部市社会福祉協議会

http://www.kurobesw.com/

宇奈月支所・黒部市東部地域包括支援センター 黒部市宇奈月老人福祉センター内

〒938-0862 黒部市宇奈月町浦山2111 TEL.(0765)65-1165 FAX.(0765)65-9533
Eメール tobu-houkatsu@kurobesw.jp

ちよこ情報 [黒部市の人口] 41,564人 [65歳以上の人口] 12,722人 高齢化率 30.6% H30.2.28 現在